



ネットで秋厚労ニュース  
http://www.shukouro.net/

ID shukouro  
パスワード 0188643341

メール syukoro-kyosen@w3.dion.ne.jp

NO1807号

2017年11月27日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

# 地域調査

# 秋厚労ニュース

来年  
1月

# 中間検討会

## 鹿角の医療と福祉を考える 市民町民の会

「鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会」は、昨年11月から第2回地域調査を行い、地域の課題を明確にするとともに、その解決方向を模索中。来る1月27日には、助言者を交えて調査の「中間検討会」を開催することにしています。

### 鹿角・第2回地域調査・中間検討会

2018年  
(平成30年)  
**1月27日** (土)

14:00~17:00

鹿角市「文化の杜交流館・コモッセ」 研修室1

＜調査指導の先生方＞

#### 横山壽一教授 (佛教大学)

1951年生まれ。金沢大学経済学部長、同地域連携推進センター長などを経て、2016年から佛教大学教授。公益財団法人「日本医療総合研究所」副理事長。「社会保障の市場化・営利化」「皆保険を揺るがす医療改革」など、著書多岐。

#### 長友薫輝教授 (三重短期大学)

1975年生まれ。三重短期大学生活科学科教授・自治体問題研究所理事・日本医療総合研究所理事などとして活躍。社会保障論・地域医療論・地域福祉論等。「新しい国保のしくみと財政」「長友先生、国保って何ですか」など著書多岐。

何を調べていけば解決の見通しが出るかを話し合う

鹿角の「第2回地域調査」

5小項目)に整理。中でも最大の課題を「いのち」と位置づけ、今年5月頃から「本調査」が始まりました。

#### 塩分多く野菜少ない

今日までの「本調査」の中で、「短命」の汚名を返上して、「長寿地域」に転換するためのポイントが6つ

「予備調査」による344件の「課題」は4つの柱と26大項目(48中項目・16

①食・②運動・③医療体制・④交通・⑤人のつながり・⑥貧困対策)浮かび上

## 仕事づくりも視野に

「人のつながり」の面で、施設やイベント・同好会等がありますが、特に中高年男性の参加が少なく、「ひきこもり」になりがち。運動(スポーツ)施設も「プロ向け」や「季節限定」がほとんど。また、「交通手段」が生活全般に大きな影響を与えていることも見逃せません。

「人々の生活に気をつけ、日常的に運動し、定期的に健診を受けて、人の集まりに積極的に参加するためには、一定のお金が必要です。地元「生活と健康を守る会」の資料によれば、鹿角市民の平均年収は230万円。「生

#### キーマンや研究者も

課題の「根っこ」が少しだけ見えてきたところで、「市民町民の会」は1月に地域調査の「中間検討会」を開催することにしました。この間お話を聴かせていただいた「地域のキーマン」とも言える方々、調査指導の先生方なども含め、関係者が一堂に会し、何を調べていけば解決の見通しが出てくるのか、少し時間をかけて話し合うことにしています。

「中間検討会」は外部からの参加も受け入れており、すでに茨城県から数人の参加希望が届いています。



交通手段は生活に大きな影響